

(別紙の2)

自己評価及び外部評価票

※「自己評価の実施状況(太枠囲み部分)」に記入をお願いします。[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念である「共に歩む」を基に施設理念「共に支え、支えられる関係」を掲げ、職員がいつも確認できる所に掲示し、日々努力しています。	法人の理念と地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を作り、事務所内の職員の目に触れやすい場所に掲示されている。管理者が中心となり、日々のサービス提供の中で職員への教育を行い理念の共有と実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	利用者の身体機能の低下により、地域行事には参加できなかった。又、今年はコロナウイルス禍により面会制限があり特に出来なかった。散歩の時、地域の方の作業時に挨拶等を行った程度だった。	年2回開催される喫茶店は、地域の方も参加され交流の場となっているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため住民の参加は中止される。コロナ禍の今年は散歩の際のぶどう農家の方と挨拶等の交流に限られる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	直接地域の方と接触する事は出来なかったが、施設便りを作成、季節に合わせた注意しなければいけない病気やできる体操等のお便りを配布した。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている。	昨年までは、会議を行えたが、今年度は行えなかった。本来なら、とても参考になる事など話し合いからサービス向上に活かしていた。	昨年度は年間6回開催し、市の担当職員、地域包括支援センター、民生委員、区長、地域の方、家族が参加され、サービスの見直し等に活かされていた。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、市へは毎月、事業所内での状況を文書にまとめ報告している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力を築くよう取り組んでいる。	今年度は、介護相談員の方の訪問も実施出来ず、市町村とは電話や文書で連携を取った。	昨年度までは、役場の担当者が毎回出席している運営推進会議が連携の中心であったが、今年度はコロナ禍による会議の中止に伴い電話や文書での連携のみとなる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束を行わなくても、ケアが出来るよう取り組んでいる。	管理者が中心となり身体拘束をしないケアの実践に努めており、実際に利用者を支援する中で職員に指導、教育を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	認知症の理解を深める事により、虐待に繋がらない努力をし、職員の精神的負担や、悩みを皆で話し合い虐待にならないようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修等で理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に、御家族と読み合わせを行い、項目ごとに質問を受け、同意した上で契約して頂いている。随時質問等受け付けている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱を設置したり、アンケート調査を行ったり、気軽に相談、意見が伝えられる環境を作り、運営に反映できるようにしている。	玄関に意見箱を設置してある。また施設独自でアンケートを実施し、これまでも実際に家族から指摘のあった部分を改善するなど運営に反映させてサービスの向上に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	いつでも意見や提案を聞ける環境を作り、反映できるよう努めている。	主に朝と夕の申し送りの際に、職員の意見や提案を聞き運営に反映させている。また日頃から管理者は職員が意見や提案をしやすい環境作りに注力されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	働きやすい環境作りを心がけ、職員がいつでも「笑顔」でいられるよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内外で研修に参加できるように努めている。今年度は、コロナウイルス禍の為、行えていない。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	サービスの向上を図りたいが、コロナウイルス禍の為積極的には行えていない。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	御本人の思い、生活史、環境等を御本人、御家族様、友人、親せきの方から情報を頂き、不穏時の状況、訴えを職員、御家族様等と話し合い、不安を軽減させ、安心して穏やかに生活していただけるよう努めます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	何時でも相談していただけるよう、日ごろから努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご家族の話に耳を傾け、できる限り必要としている支援に繋げるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	常に職員は御利用者様を、「人生の先輩である」として尊敬、受容、共感できる関係づくりに励んでいる。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	施設理念であるため、より良い関係づくりができるよう努力している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	なじみの関係が壊れない環境、サービスに努めている。ご家族様より届いたお便りに、返事を書いて頂き手紙を送っている。	コロナ禍で外出が制限される中、電話での交流や施設として日常的に手紙を書く機会を設け、家族や友人に対して手紙を送るなど、関係継続の支援に努めている。	コロナ禍の中、既に事業所内で話が出ている利用者のご様子をDVDでお送りする等、メディアを活用した交流が計画通りに実行されることを期待致します。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	認知症のレベルにより、他の方とコミュニケーションが取れない方もおり、職員が間に入り孤立しないようにしたり、仲の良い方たちとの席順を配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	年賀状やお知らせ等を送らせていただいている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンス、ミーティングを開きケアプランの見直しを必要に応じて行っている。その人らしくを大切に考えて。	日常の関わりの中で利用者の思いを把握できるようコミュニケーションに努めている。また把握した内容については1日2回の申し送りと月1回のミーティング、カンファレンスノートを活用する等して共有し、支援に反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御利用者様とのコミュニケーション、ご家族様からの情報提供、親戚、友人からの情報提供より把握できるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	各自ができること、理解できること、どう手助けしたらできるのかを日常生活の中から発見、気づきを話し合い把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご利用者様、ご家族様、多職種との連携を図り、カンファレンスに参加していただき計画づくりを行っている。	コロナ禍により集まったカンファレンスは開催できないが、家族や法人内を中心とした医師、看護師、栄養士、リハビリ、歯科衛生士等の各関係機関との連携を図り、現状に即した介護計画が作成できるように取り組まれている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人記録、業務日誌、朝の申し送り等、職員全員が情報を共有でき、実践、見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	その時々状態に合わせて、サービスの内容を検討できるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の方の力をお借りしながら、楽しく生活ができるようにしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	事前説明の折、確認を行っている。	かかりつけ医は、本人及び家族の意向が尊重され、自由に選ぶことができる。併設の病院が協力医であるため連携が図りやすく、現在は利用者及び家族の希望により全員が協力医をかかりつけ医としている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週1回訪問看護師が来所した折、相談や意見等を聞いている。また月1回行われるカンファレンスにも参加できる時に参加して頂きアドバイスや、意見交換を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	法人が病院なので、担当看護師や、相談員とも情報交換ができる。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	御家族様、医療関係者、介護職と話し合いを行い、看取りにおける指針を作成したり、看取り介護の同意を得ており、最後まで看取る体制が出来ている。	看取における指針を作成し、入所時から重度化や終末期に向けた説明を行い、方針を共有しながら支援している。併設の医療機関と連携を図ることで看取り体制が確立されており、安心して納得した最期を迎えられるよう利用者、家族の意向を踏まえてよく話し合いを行い対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応を、医師、看護師から指示を受け、職員が対応できるようにしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の防災訓練や、施設独自のミニ訓練、法人の防災訓練への参加(今年度はコロナ感染の為行えず)、緊急時地域の方の協力が得られる体制が出来ている。	今年11月消防署立会いの下、マスク、段ボール等で飛沫対策を施し、感染症拡大防止策も加味した避難訓練を実施。消火器の使い方等を訓練する。緊急時における地域の協力体制も確保されている。	

自己	外部	項目	外部評価	
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	法人が「接遇教育」を重視している為、常にご利用者様に対しての言葉かけや、尊厳を大切にしている。さらに職員は御利用者様を理解し人格を尊重しようと努めている。	新規卒業者、中途入社含めて新人職員に対して「接遇教育」を実施している。管理者が中心となり利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応ができるよう指導されており、その中で地域のことば等を用いながら馴染みの関係作りに努めている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	御利用者様の訴えを聞いたり、様子を見たり、つぶやきを聞き逃さないようにして、思いや願いを出来るだけ叶えるようにしているが、その思いを否定される御家族もいらっしゃるのでは、話し合いを行い協力が得られるように努めている。	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	御利用者様を最優先にし、一人一人の時間に合わせたサービスを行えるよう努めている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その方らしいオシャレや、ファッション、身だしなみが出来るよう支援している。	
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	日常は、病院からの食事提供を行っているが、行事を多く行い、季節感を取り入れたり希望メニューを提供できるようにしている。年1回喫茶店も開店している。また外食支援も行う。	通常食事は併設の病院で作られ運ばれるが、お誕生日の食事、おはぎ等の季節的なものやおやつはグループホーム内で作られ、その際利用者も野菜の皮をむく等、可能な限り食事作りに参加される。また美味しく召し上がって頂くために盛り付ける食器は瀬戸ものを多く使用する等工夫されている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	病院からの食事なので、栄養面、食事形態等は、栄養士、ST、訪問看護師等と連絡を取りながら支援している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	歯科往診が週1回あるので、検診や歯磨きの指導等して頂いたり、相談したりしている。法人のSTの協力も得ている。口腔ケアには力を入れている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	日常生活から気配り、目配りを行い、自力排泄ができる食事、運動医療との連携を行い取り組んでいる。	利用者一人ひとりの様子等からトイレのタイミングを察知し支援する。トイレでの自力排泄を促すため腹圧を掛けられる体操を行ったり、法人内の栄養士と連携し便通を良くする食事支援(ヨーグルト等)に取り組んでいる	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事、水分量に配慮し、楽しく運動が出来るようにして便秘改善に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている。	入浴が楽しく、リラックスできるよう努めている。季節行事も取り入れている。バブ使用、音楽、ゆずや菖蒲等。	曜日、時間帯は基本的には決まっているが、利用者の様子等に合わせて柔軟に対応している。また入浴剤を使用し色や香りを楽しんでもらったり、菖蒲湯、ゆず湯、ハーブ湯(自家栽培)などで季節感が味わえるように対応されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	体操や散歩、施設内の雰囲気作り、シーツ交換、布団干し、またラベンダーや緑茶等を使用したりして、気持ちよく入眠できるよう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員全員が服薬に関して理解し、薬が変わったりした時は特に体調の変化を見落とさないようにし、職員同士情報交換を行っている。配薬ミスが起こらないよう何度もチェックしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	御利用者様がストレスを感じることなく行える役割分担をお願いしている。その日にやりたい事を尋ねて、出来る限り実施できるよう努めている。今年度はコロナ禍の為外出が出来ていない。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個別支援を重視し行えるよう心がけ、御利用者様の希望により外出したり、散歩に出掛けたりしている。御家族様の協力も得ている。コロナ感染の為外出が禁止されている。	通常は日常的に近所のスーパー等に外出している。現在コロナ禍で外出が制限されているが、天気の良い日は施設の周囲を散歩し、季節の樹々、花を観賞するなどしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理は施設で行っているが、外出の際支払をお願いしたり、買い物時の支払いをお願いしたりしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	御利用者様の希望があればいつでも電話をかけられるようにしている。(御家族様の同意を得て)手紙も自由に出せるようにしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	認知症の症状に合わせ、できるだけ居心地の良い環境、雰囲気、季節感を出せるように努めている。	ホールと廊下には床暖房、また各トイレ、脱衣室には専用の暖房器具があり、冬場も室温は快適に保たれている。食堂や廊下には、一年を通して利用者自身が作成した作品等が綺麗に飾られており、居心地の良い環境作りに努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファや好きな場所でTVを見たりできるようにしている。また席順を考えたりして居場所作りをしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	認知症の程度により異なるが、馴染みの家具や趣味のお花、TV等居心地の良い環境作りを御家族様協力の下、行っている。	これまでの生活習慣を大事にされ、畳の居室、馴染みの家具や家族との写真、趣味のものが居室に飾られるなど、本人が居心地良く過ごせるように居室の環境作りを工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	御利用者様一人ひとりの出来る事、できない事を職員が情報交換を密にし、できない部分への支援の仕方や、安全面にも配慮し、できるだけ自立した生活が送れるよう支援している。出来る事を取り上げない努力と、待つてあげれる努力をしている。		